

全医労保育所ニュース

ピジョンは最後まで責任を果たせ！ ピジョンと「職員の雇用確保」「引き継ぎ」問題について団体交渉を実施



2017年12月10日ピジョン交渉

ピジョン「状況把握の中では、
希望者は、ほぼもれなく雇用」

全医労は12月10日、ピジョンと2017年度未受託終了にあたり、職員の雇用確保と引き継ぎ問題等について団体交渉を行いました。
全医労側から佐藤委員長以下本部役員および保育所職員と保護者を含む地方協代表の17人が出席。ピジョン側からは子育て支援事業本部長の鶴孝則氏以下3人が対応しました。

「ピジョン
引き継ぎは責任をもって
次期受託運営業者との
対応を行っていく」

冒頭、佐藤委員長は「昨年11月28日に契約終了というところで、職場では混乱が生じた。ほぼ採用の状況は見えなかったが、いまだに確定していません。保育所もあり、保育所の職員も保護

者も不安な状態だ。新受託業者の賃金・労働条件に納得できないながらも、子どものことを思い、採用希望を出している職員も多いため。ピジョンのこれまでの努力は評価するが、4月1日を越え、引き続き山積している問題を克服しなければならぬ」と述べました。ピジョン鶴本部長は



窓口担当も厳しく追及

「2017年度末をもって国立病院の院内保育所の運営を終了するが、残すところ4カ月誠意をもって運営に努める。引き続きご理解をお願いする」と述べ、「次期受託運営事業者への引き継ぎを含め保育所の安全・安心、円滑な運営を本件契約期間最後まで責任をもって対応を行う。引き継ぎは、本部スーパーバイザーが中心となり、次期受託運営事業者との対応を行っているが、これらの業務においては、園長や職員などの負担がない範囲で行われるよう配慮に努めていく。保育内容および引き継ぎについてはケースバイケースであるが、円滑に行われるよう個々に働きかけに努めており、今後も同様に対応をしていく」などの一括回答を行いました。

欠員補充は早急に SV指導も含め 最後まで運営責任をはたせ



雇用継続を働きかけてほしい

これを受け保育職員代表から「当園では12月で1人、3月で1人退職、さらに迷っている職員が2人いるので不安だ。早急に補充をしてほしい」と訴え、11月1日現在23園、25人いる欠員と合わせ、年度途中の退職予定者を把握しているかをたどしました。



保護者の声も聞いてほしい

ピジョンは「状況が変わるが情報は得ている。欠員があれば最善を尽くす」としながらも、「迷っている職員については把握しきれない。SVを通して気持ち



職員の不安を解消してほしい

ちは述べてほしい」と回答。全医労は「迷っている人はSVにも話しきれない。全医労がピジョンに話をするというルートでも良いか」と追及し、ピジョンも認めました。「SVの対応についてはこの間よくやってくれているという声が多いが、中には相談できないという方もいる。最後までSVを指導せよ」と、恒常的に8時間勤務している7時間パートの常勤化についても最後まで運営責任を果たせ」と追及しました。



早急に欠員補充を

「新受託業者からは口頭では採用すると言われたが、内定通知が出ない中で不安になっていく職員、保護者の思いも伝え、早急に内定通知を出すよう受託業者に働きかけよ」と訴えまし

全医労「希望者は採用決定と認識してよいか」 ピジョン「希望者は雇用」

産休・育休者も 4月1日採用となるように 真摯に対応したい

また、4月1日を産休、育休、病休中で迎える職員の雇用について追及。職員の子どもの保育園や給付金の問題などもあり、育休・病休明けで

は雇用」と回答しました。新しい年を安心して迎えられるよう、引き続き受託業者へ1日も早く内定通知を出すよう働きかけることを要求しました。



は、4月1日の採用となるよう働きかけを要求しました。ピジョンは「真摯に対応したい」と回答しました。さらに、「現在、受託業者の対応の遅れ、今よりも悪い賃金・労働条件、保育内容によって雇用継続を希望しない職員、迷っている職員がいる。本人にはもちろん、病院、受託業者にも伝え、働き続けられるようにしてほしい」

「受託業者にピジョンから現行賃金などの提示もしてほしい」と追及しました。ピジョンは「情報提供の形で受託業者に現在の賃金等については示している。2（各受託業者、保育所の）詳細を聞いて対応を進めたい」と回答しました。



引き継ぎスケジュールを個別に示し 保育に支障がないように

会社が変わるだけ、新人ではない。 賃金・年休も引き継ぎを！

次の受託業者への引き継ぎにかかわって、「勤務時間内に引き継ぎしてよいのか」などの追及に対し、ピジョンは「必ずSVを通して話をするようにしている。引き継ぎは勤務時間」と回答しました。

あわせて、引き継ぎの終了予定として、ピジョンが「3月と決めているわけではない。1月に引き継ぎ、2月、3月を補足の期間と考える

ている。受託業者による差はあるが早めにと考えている」と回答。

全医労は「業者により一様にはいかないだろうが、引き継ぎのスケジュール・内容を個別、受託業者ごとに示してほしい」「特に園長が変わる、職員の入れ替わりが多い園については早めに出せるように」と追及し、ピジョンも努力していくことを確認しました。

年休について「受託業者によっては今の年休を引き継ぐというところ、ゼロからスタートのところと差異がある。そんな中で、3月まで年休全部取りたいという保育士もいる。実際は保育が回らなくなる。金銭補償の日にちを増やしてほしい」「会社が変わるだけで新人職員ではない。年休、賃金も引き継ぎできるような働きかけてほしい。そこも含めて

雇用の継続だ」と追及。ピジョンは「理解している。待遇面、賞与などの問題もある。受託業者にも機会があれば優先順位をつけ確認、進言していきたい」と回答しました。

最後に佐藤委員長は「今の新受託業者、施設側、保育所と具体的に対応していただいたことはよくわかった。長年にわたって積み上げてきた保育内容を4月以降

もつなげられるようピジョンとしても年度末まで運営責任を果たし、特に保育所職員の雇用をすべて守っていくことをお願いしたい」と締めくくりました。

鶴本部長は「3月末まで手抜きがなく、これまで通り、そして次の業者にバトンタッチしていきたい。これまでピジョンに共感していただいて自分のものにした保育に自信をもって次の保育でも欠かすことなく貫いてほしい。ご協力をお願いしたい。」とあいさつし、交渉を終えました。

以上
※ 合意確認事項は後日送付します。



2016年12月26日機構本部保育所交渉



2017年3月30日機構本部保育所交渉



2017年5月9日機構本部保育所交渉



2017年6月2日医労連機構本部要請



雇用を希望する保育所職員が
安心して年越しできるよう
三者が力を合わせよう

新たなたたかひに向けて スタートしよう!



交渉終了後、まとめを行いました。交渉参加者の感想と香月書記長のまとめを紹介します。

交渉参加者の感想

* 保護者として、組合員、看護師として話をさせてもらった。一番心配なのは、自分の子どもをみてくれている先生の処遇。ピジョンから新受託業者に働きかけるまで見届けてもらいたい。

* ピジョンの時は色々な問題も一括して交渉できた。これからは違う混乱とさみしさがあって今少し感傷的に。長い目でみても直営が理想。そこに向かっているように進んでいきたい。

* 今後はバラバラの委託元と交渉になる。ピジョン交渉メンバーと会うチャンスがなくなる。みんなが集まって気持ちを吐き出せていた。これからこういう機会があれば良い。

* うちの病院はキッズを実績で選んだ。病院の思いもあったのか。変形

労働時間、固定残業、固定経費など数字のからくりに感心してしまう。これを今後どうやってプラスにしていけるか。

* 「ボーナスがない」「基本給を下げられている」など、問題のある受託業者もある。力を合わせて病院を動かしたい。組合、保護者、みんな笑顔で4月を迎えたい。

* 交渉の場があることで働く意欲が湧いた。その繰り返しで国時代からがんばってってきた職員は辞めることなくここまでできた。ありがたい。言う場がなければ離れていったらどう。バラバラになっても問題は共有したい。

* 「有休もない」「賃金も下がる」「みんな迷いに迷って返事をしていない。申し訳ない。一日も早く労働条件について話をしてもらい信用を回復したい。今いる園児を元気に卒園させるためにみんな一生懸命。入社書類はきたが見る余裕が

ないくらい保育に忙しい。最終的に決断してくれたが3月まで働けるか結論がでない。今やれるのは支部と一緒に頑張って病院に言うこと。さくらに労働組合があることを知らせること。保育園は労働組合がいちばん最初につくって、その間にたまたまピジョンが入っただけ、それを新受託業者が引き継ぐ。そのことを知らせないといけない。これからがんばろう。

書記長のまとめ

実質的にピジョンと最後の交渉、労使関係の区切りとなる。

ピジョンが3月31日まで、運営、雇用責任をまっとうすることは確認できた。欠員も最善を尽くすと回答した。

ピジョンはすでに全支部の業者とコンタクトをとって連絡をとれる体制をつくっている。年内の雇用確定に向けて、ピジョンとしても頑張っていくと確認した。産休、育休など個別のケースはお互い知恵を絞って解決していこう。

引き継ぎに関しては、第二共済にも全医労としてしっかり言わなくてはいけない。ピジョンは1月中には引き継ぎの目途をつけたこと。現場に迷惑をかけるないようにしていきたい。ピジョンとSVが責任をもって担当していく。雇用確保、引き継ぎについて、それぞれピジョンとしても全医労本部としっかりと協議してやっていく。場合によってはもう一度交渉もあり得る。

全医労としても機構に12月までに内定通知を出せと言っている。機構も年越しまでには安心させたいと言っている。

問題を抱えた保育所については、施設側に要求書を提出して変えさせることはできた。労使交渉、意思統一してやっていきたい。弁護士とも

相談していきたい。

変形労働制を勝手に持ち込んでいるところはおかしい。新受託業者の説明も受け追及点をさぐっていきたい。

当面の獲得目標は、12月中に採用内定、1月組合通告。支部から一斉要求書提出。労働条件がピジョンを下回っていると、地方協、支部と連携して統一要求でたたかおう。改めて中央委員会では提案したい。

全国の仲間と交流する場として、6月に全国保育所会議を開催する。今後の全医労の保育所の取り組みをどうするかを考える場。

思い切りたかかって、ひとりでも多くの職員が安心して働けるようにしたい。この1年でも多くの仲間が全医労に加わってくれた。強い団結の保育闘争を提起していきたい。新たなたたかひに向けてスタートしていこう。以上